

QMS委員会 2019年度事業計画

第4号議案

2019年 6月 17日

CIAJ QMS委員会

◆目次

1. 活動方針
2. 運営体制
3. CIAJ本体からの指示事項
4. 2018年度の申し送り事項への対応
5. 2019年度の運営方針
6. 2019年度の活動計画

[ご参考] 外部機関との連携（行政・社会性）

1. 活動方針

活動方針

・グローバル経済の中、**3つの活動視点(会員企業, 行政, 社会性)**により、ISO 9001に準じたQMSを活用し、**会員企業の製品品質/サービス品質及び経営品質のパフォーマンス向上を目指す。**



< **3つの活動視点** >

2. 運営体制

運営体制

- 運営委員会：委員長, 副委員長, 運営委員, 会計監事, 特別委員, フェロー
- 運営委員会開催時, 各イベントの企画検討状況・進捗状況の確認, 成果物等のレビューを実施
- QMS研究活動は運営委員会開催時や各イベントとのコラボレーションによる運営一体化にて効率的な委員会運営を実現

総会

運営委員会

・委員会
運営

+

・研究活動
・イベントの
企画・運営

会員企業数 : 22社
 委員長 : 1名
 副委員長 : 1名
 運営委員 : 3名(TC176委員含む)
 特別委員 : 1名
 会計監事 : 1名
 フェロー : 1名

(2019年6月現在)

3. CIAJ本体からの指示事項

委員会活動への指示事項

- ①新規事業創出に向けたテーマの提案
- ②質の高い委員会活動に向けた活動内容の精査
- ③事業環境変化に対する必要に応じたミッションの見直し
- ④法人としてのコンプライアンスの遵守

QMS委員会の取組み

- (1) 2019年度の活動計画（P8～P10参照）を実施し、会員企業の基盤強化・向上に貢献する。
- (2) イベント・企画の実施については、運営委員会にて会員企業にとってニーズが高く、役立つ（事業環境変化、公益性の観点を踏まえ）内容とすることをミッションとし、議論・検討を重ね、会員企業へ募集し、実施する。
- (3) QMS委員会の活動に会員企業の声をよりタイムリーに反映できる様、運営に携わるメンバーを募集する。

4. 2018年度の申し送り事項への対応

申し送り事項

・QKMアクティブラーニング，異業種見学会の更なる活性化

申し送り事項に対する2019年度の対応

会員企業からの様々なご意見（ニーズや課題等）を鑑み，より役立ち，参加しやすい工夫・企画（職場で活用できる実践的な講義内容や気付きを得る上で『一見の価値あり』の見学先の選定等）を検討し，試行する。

5. 2019年度の運営方針

2019年度の運営方針

『QMSのプロセスを改善する』

テーマ：QMSのプロセスを柔軟性，順応性のあるものに変えるには

『QMSのプロセスを改善する』とは・・・

- 様々な組織において，現在運用しているQMSが組織にとっていつまでも最適なもので有り続けることは，**事業環境の変化や技術革新などの影響を受け，非常に難しい。**
- 現在のQMSの監視・測定対象について，パフォーマンスと有効性を評価した上で，プロセスやQMSの状態を知る。その結果を踏まえ，**組織に最適なQMSのプロセスとして『Innovation』し，未然防止的活動として実践する，etc.**

なぜ『QMSのプロセスを改善する』なのか・・・

- 組織としてはISO9001：2015の移行は2018年度までに完了し，QMSを運用しているが，『**QMSのパフォーマンスが上がらないこと**』や『**QMSの形骸化**』に再度陥っていないだろうか？**賞味期限切れのQMSでは事業環境変化は乗り切れない？ etc**

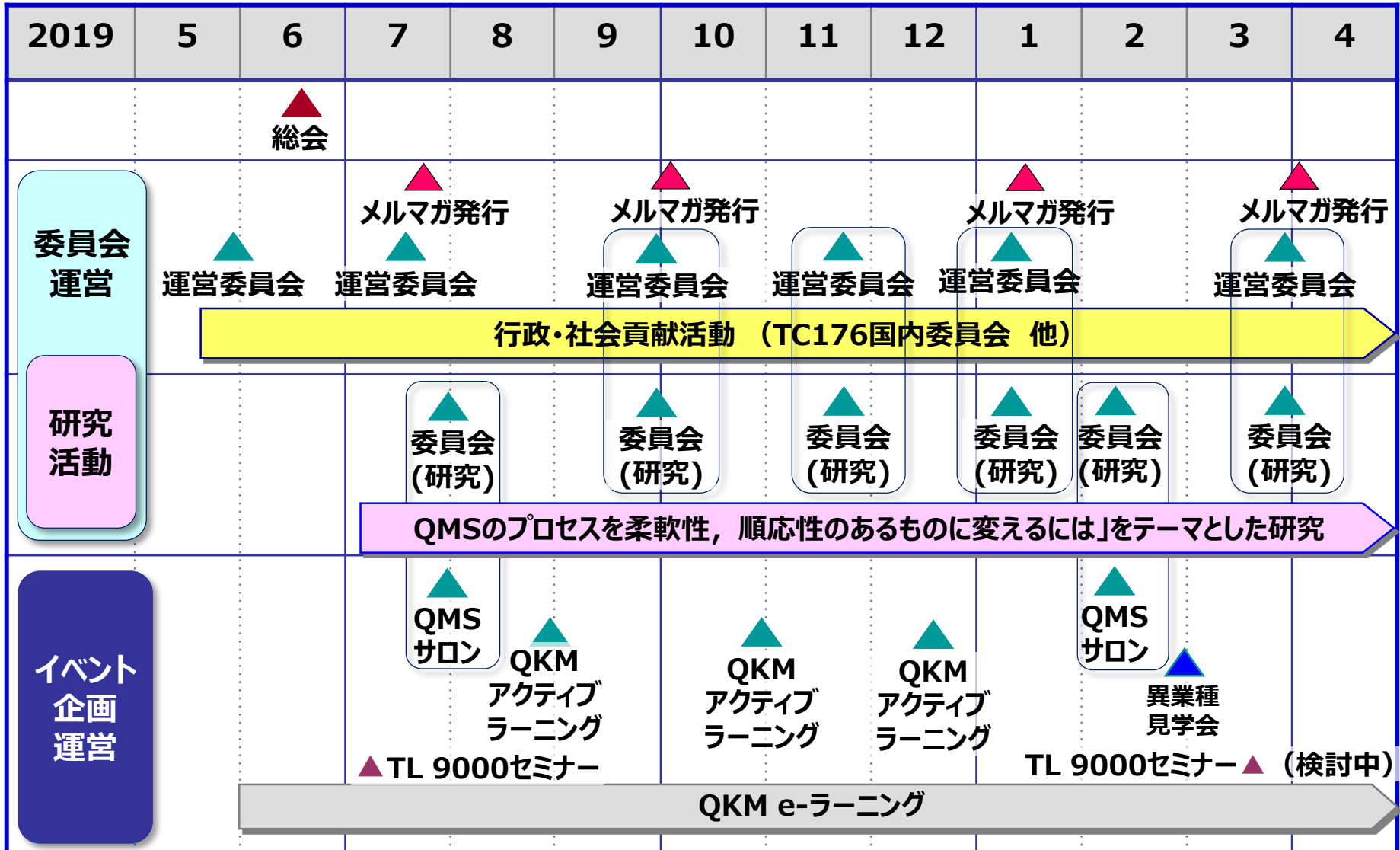
6. 2019年度の活動計画（1/3）

委員会運営	内容
運営委員会	<p>QMS委員会の意思決定の会議体。 QMS委員会の活動方針及びそれに伴う各活動の内容について、検討・議論の上、整合を行う場であり、また、研究活動も行う場。</p>
メルマガによる 会員向けの情報 発信	<p>会員向けのメールマガジンによる、QMS委員会のイベント企画告知/報告、QMS関連の最新動向、特別連載記事“知的資産活用型企业への道”などのQMS関連情報の定期的なプッシュ型情報の発信。</p>
情報収集ならびに 行政・社会への貢 献	<p>TC176国内委員会への委員派遣、ISOフィードバック調査や規格制定へのコメント実施。 標準化/品質関連諸団体のセミナー・教育参画による情報収集実施。</p>
研究活動	内容
QMSのプロセスを柔軟性、順応性のあるものに変えるにはどの様に考え、活動していけば良いのかを研究	<p>「QMSのプロセスを柔軟性、順応性のあるものに変えるには」をテーマとし、事業環境の変化や技術革新などの影響を受けながらも最適なQMSのプロセスを目指すにはどの様に考え、活動していけば良いのかをISO 9000 品質マネジメントの7原則やISO 9001要求事項の本質を考え、研究活動を進めていく。</p>

6. 2019年度の活動計画 (2/3)

イベント企画・運営	内容
QMSサロン	<p>会員企業においてQMS推進に携わる方を交え、QMSへの知的資産活用やQMSの高度化活用への気づきの場を提供。 (会員企業メンバの気づきの声をふまえ、必要に応じてQMS研究活動へフィードバックする)</p>
QKM アクティブラーニング	<p>実践的なQMSの学びの場 (講義形式, ワークショップ形式等) 組織的学習のため, リスクを見つけ出し・機会(オポチュニティ)を自主的に取りにいく能力を身に付ける場。</p>
QKM e-ラーニングサービス	<p>ISO 9001:2015規格解釈に加え,品質管理基礎講座; 4コースを継続して提供。</p>
TL9000セミナー	<p>TL 9000の外部機関と連携したセミナーを提供。</p>
異業種見学会	<p>異業種の品質に関わる活動や交流を通して気づきを得る「異業種見学会」の開催。</p>
HPリニューアル	<p>QMS委員会のHPをリニューアルし、会員企業へ情報発信。</p>

6. 2019年度の活動計画 (3/3)



一般社団法人
情報通信ネットワーク産業協会



【ご参考】 外部機関との連携（行政・社会性）

